

平成28年8月 日

日野市長

大坪 冬彦 様

ひの緑のトラスト

会長 笹木延吉、他参加団体一同

(参加団体：倉沢里山を愛する会、真堂ヶ谷戸蛸の会、南丘
雑木林を愛する会、東豊田緑湧会、日野の自然を守る会、
日野市環境市民会議、百草山の自然と文化財を守る会、谷
仲山緑地を守る会、緑地管理ボランティアの会)

(連絡先：ひの緑のトラスト事務局)

(日野市環境情報センター内)

百草・倉沢地区における緑地市有化に関する要望書

貴職並びに市職員の皆様には、日頃から日野市の自然環境保護施策について、積極的かつ市民の立場に立った行政を推進して頂き、また、私ども「ひの緑のトラスト」の活動についても、一方ならぬご配慮とご支援を頂き、衷心より感謝申し上げます。

また、今般本トラスト発足の契機となった百草地区東端の真堂ヶ谷戸の国有地の買い受けが実現される由、大坪市長のご英断に心からの敬意と感謝を申し上げます。本トラストによる日野市内外から寄せられた募金が、買い受け価額に対しては大きなものと言えないものの、この機に市内外の心ある市民の志が活かせることになり、私ども本トラストのメンバーとして大変喜ばしく、また日野市の緑行政に対して誇らしく思うところであります。本当にありがとうございました。

さて、本要望書でお願いしたい事案2件について以下に概述させていただきますので、是非とも前向きにご検討頂き、百草・倉沢地区一帯の緑地保全をより推進して頂きたく、お願いする次第です。

- (1) 昨年百草谷戸の八木家で発生した相続により、百草谷戸の地権者の1人であった八木淑子様のご遺族から、数年前に市有化された緑地に隣接する山林(百草520-1、外)を市有地として買い受けてほしい旨の要請がなされていると聞いております。

これについて本トラストとしても是非実現していただきたい。

京王線が聖蹟桜ヶ丘駅を出てすぐに目に飛び込んでくる豊かな緑は、浅川に沿って平山、八王子市にまで連なる一連の緑の団塊として、しばしば日野市民のみならず多くの方たちから感嘆の声を耳に致します。この緑は、「みどりの基本計画」においても日野市内の緑の重点保全地区と位置付けられ、京王沿線における日野市の顔ともなっている所でもあります。こうした環境に魅せられて日野市に移り住んだという新しい市民も少なくありません。

私ども「ひの緑のトラスト」を構成する各団体は日頃から市内各地区の緑地等においてその良好な自然環境を守り、市民の生活環境の保全のために地道な努力を続けておりますが、当然のことながら民間団体に緑地を取得するだけの財力はありません。ここはやはり行政の力に頼る以外に方法はなく、ベースとなる緑地自体が失われてしまっただけからでは、環境保全の機会そのものが永久に閉ざされてしまうことは論を待たないところです。

- (2) また、同じ相続で、現在まで16年間にわたって百草・倉沢地区での里山保全に努力を積み重ねている倉沢里山を愛する会が地権者の理解を得て、会員自身の手で建設資材置場兼作業場の撤退後の片づけから始め、農地として再生し、農園として運営してきた、現在は市民農園の扱いとなっている土地(百草 725-1)についても寄付の申し出があると聞いております。この場所についても従来に引き続き、倉沢里山の一構成要素として維持できるよう格段のご配慮をいただきたく、合わせてお願いする次第です。

上記2カ所の緑について、その市有化および運営管理について要望させていただきます。財源、行政組織等々、様々なハードルがあることは存じますが、日頃市内各所で緑の保全に心を砕き、また汗を流している立場から、心からお願いするものです。

何卒よろしくご高配賜りますようお願い申し上げます。

以 上